



### プロジェクト

## 在宅医療から被災地・石巻の健康・生活復興への挑戦

### 受賞者

## 医療法人社団 鉄祐会 祐ホームクリニック 石巻／ 一般社団法人 高齢先進国モデル構想会議

所在地 〒986-0801 宮城県石巻市水明北 2-1-24

電話 050-3777-2177

URL <http://you-homeclinic.or.jp/clinic/ishinomaki/#>

E-mail [info@you-homeclinic.or.jp](mailto:info@you-homeclinic.or.jp)

### 【取組・事業実施目的】

#### 震災後の高齢者への在宅診療体制／在宅被災者への健康・生活支援体制を構築

東日本大震災後、石巻市では、高齢者を中心に通院困難者が大量に発生することが予想され、また、避難生活による高齢者の日常生活動作(ADL)の著しい低下、震災のショックや喪失感による鬱、PTSDなどによる心の問題が表面化していた。また、外来診療所は7割まで復旧したが、基幹病院の1つである石巻市立病院の機能停止により、急性期病院からの退院患者の受け皿が不足することが予想された。医療法人社団 鉄祐会 祐ホームクリニック石巻では、24時間365日の在宅診療体制を整備。院長の武藤真祐が代表を務める一般社団法人 高齢先進国モデル構想会議は、行政だけでは届かなかつた、津波被害のあつた地域にそのまま居住していた「在宅被災世帯」の支援団体として、石巻医療圏 健康・生活復興協議会を設立。健康・生活面の総合的な支援を目的としてアセスメントによる健康・生活サポート事業に取り組んでいる。

### 【取組・事業の概要と特徴】

#### 多くの方の支援から生まれた被災地支援活動

祐ホームクリニック石巻の設立にあたっては、地元医師会、病院や行政、住民、県外の団体、企業、財団のさまざまな協力と支援を得て、震災からわずか6ヶ月の2011年9月に診療を開始した。看護師、スタッフには、地元の方々を雇用し、開業から1年余りで述べ患者数は200名以上を超える規模になった。また、医療・介護関係者との勉強会など、地元医療・介護のネットワーク構築を推進した。在宅被災世帯の健康・生活サポート等を目的とする石巻医療圏 健康・生活復興協議会では、2012年12月までに2万件を超える世帯訪問を行い、サポートが必要と判断された約2800世帯に対して、必要とする医療・介護・自立支援・住環境支援などのサポートを進めている。

### 【健康寿命をのばすポイント】

#### 在宅医療・介護の連携／アセスメント調査を通じた健康・生活サポート

医療法人社団 鉄祐会 祐ホームクリニック石巻では、最期を自宅で過ごす方の看取りまで行う。被災者の中には、自宅が被災し、応急仮設住宅での生活を余儀なくされる場合も多いが、それでも患者の顔は明るい。帰った場所が懐かしい我が家でなくとも、自分の自由な意思を尊重する空間が大切だと教えられる。石巻医療圏 健康生活復興協議会においては、アセスメントを元に、健康面、生活面ともに専門職が精査し、「医療」「介護」「自立」「心のケア」「見守り巡回」「住環境」の6つの領域サポート活動を展開している。

